

AvePoint

Cloud Archiving

リリースノート



2018 年 3 月リリース版

新機能と強化点

- 西ヨーロッパ (オランダ) データ センターで使用可能になりました。
- Azure Active Directory で作成されたカスタム アプリケーション経由でデータを管理することが可能になりました。AvePoint Online Services でアプリ プロファイルを作成し、**カスタム Azure アプリ** をアプリ プロファイル タイプとして選択ことで、カスタム アプリケーションの情報を提供することができます。
- AvePoint Cloud Archiving 画面を終了せずに **コンテナの作成** 機能を使用してサイト コレクションを作成する場合、アプリ プロファイル認証方法を多要素認証以外にも使用することが可能になりました。アプリ プロファイル内のアプリ トークンを使用して AvePoint Cloud Archiving をお使いの SharePoint Online 環境に接続する際に、アプリ プロファイル認証方法を選択することが可能になりました。
- リスト以上のレベルでオブジェクトをアーカイブ・リストアする際、リスト ビューを自動的にアーカイブ・リストアすることが可能になりました。
- プロファイルが AvePoint Cloud Governance でサイト コレクションに適用された場合、サイト コレクションの適用済みプロファイルへの変更を制限することが可能になりました。

既知の問題

- Cloud Archiving 画面で **コンテナの作成** 機能を使用してサイト コレクションを作成する場合、SharePoint Online 環境への接続にカスタム Azure アプリケーションを含むアプリ プロファイルを使用することはできません。
- **アーカイバ** で、**ドキュメント** レベルのアーカイバ ルール (**コンテンツ タイプ**、**次の値を含む**、**wiki**) を作成し、ルールを Wiki ページ ライブラリに適用してから **アーカイバ** ジョブを実行すると、ジョブの完了後もライブラリがアーカイブされません。

原因: 拡張子が **aspx**、**js**、**css** であるファイルはアーカイブ中にスキップされます。Wiki ページ ライブラリのファイル拡張子は **aspx** です。

- SFTP ストレージ タイプの物理デバイスを構成し、SFTP サーバーが freeSSHd である場合、パスワードおよびプライベート キー ファイル (.ppk file) の両方を同時にテストすると、テスト結果は失敗となります。これは、SFTP では .openssh フォーマットでのプライベート キー ファイルのみに対応しているため発生します。PuttyGen による .ppk フォーマットでのプライベート キー ファイルには対応していません。この問題の解決方法として、プライベート キー ファイルが .ppk フォーマットの場合、PuttyGen を使用して .openssh ファイルに変換する必要があります。

- 使用中にネットワーク分断が発生した場合、**ジョブを開始しました** または他の操作インジケーターが通知ペインで正常に表示されない可能性があります。通知の表示に失敗しても、ジョブは正常に開始されており、ジョブ モニターで追跡されている可能性があります。操作の再開または新しいレポートのエクスポートを実行する前にジョブ モニターを確認することが推奨されます。
- [workflow;open a] というテキストが含まれる名前でプランおよびプロファイルを作成すると、保存時にエラー メッセージが表示されます。これは、[workflow;open a] が Windows ファイアウォールのルールの起動に使用されるコマンドであるため発生します。
- AvePoint Cloud Archiving では、サイト コレクション管理者またはそれ以上の権限を持つユーザーのみが SharePoint Online サイト コレクションの登録を行うことができます。
- フィルター ポリシーを正しく構成しジョブを正常に実行させるには、フィルター ポリシーの構成時、**値** 列にはパーセンテージではなく小数点の表示形式で入力する必要があります。

通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

商標登録

AvePoint®、DocAve®、AvePoint ログおよび AvePoint ピラミッド ログは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供しよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 03282018_JP_01

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階